


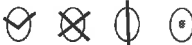
令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅰ)

注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 氏名、受験番号を「令和2年度 小学校教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号をマークしてください。
4. 「解答カード」の中で、特に受験番号の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、全て「解答カード」の解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず黒鉛筆(HB)を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正する時は、プラスチック製消しゴムで完全に消してください。また、「解答カード」を曲げたり折ったりしてはいけません。
「解答カード」が汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に「解答カード」の交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 70分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。 (よい例) 
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) 

問 1 次の各文は、わが国の学校教育の歴史上の出来事である。年代の古い順に並べたときに、3番目に位置するものはどれか。次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア それまでの検定制度に代わって、小学校教科書の国定制度が成立した。
- イ 改正教育令が廃止され、文部大臣森有礼によって小学校令が勅令として公布された。
- ウ 「学事奨励に関する被仰出書」という太政官布告の序文を伴って学制が発布された。
- エ 義務教育が4か年から6か年に延長され、尋常小学校は6年となった。

問 2 次の各文は、教育史上有名な人物の言葉である。それぞれの言葉を述べた人物名の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- A これは小さな書物でかさばってもありませんが、それにもかかわらず世界全体と言語のすべての概要について、絵と命名と事物の描写とで満たされています。
- B 人間をその境遇において幸福にする知識の範囲は狭い。しかもこの範囲は近く彼の周囲から、彼の身の近くから、彼の最も近い関係から始まって、そこから広がってゆく。
- C 教育目的としての社会的に有為な能力とは、共有された、すなわち共同の活動に、自由に、しかも十分に参加する力を培養することを意味すべきなのである。
- D 健全な身体に宿る健全な精神とは、この世における幸福な状態の、手短かではありますが意をつくした表現です。

	A	B	C	D
ア	バセドウ	ペスタロッチ	ヘルバルト	ロック
イ	コメニウス	ペスタロッチ	デューイ	ロック
ウ	コメニウス	ルソー	ヘルバルト	ペスタロッチ
エ	フレーベル	ルソー	デューイ	ザルツマン

問 3 次の各文は、学校教育の発展に寄与した人物や事柄について述べたものである。誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア アメリカの女性教育家パークースト (Parkhurst, H.) は、アメリカ東部マサチューセッツ州のドルトンの町の小学校において、自由と協同を基本とする学習者中心の学びを開発・実践した。これはドルトン・プランと呼ばれ、わが国には成城小学校にはじめて導入され、大正自由教育をけん引した。

イ フランスの社会学者デュルケム (Durkheim, E.) は、実証主義的な社会学の観点から教育を先行世代が後続世代に対して行う「方法的社会化」と定義した。

ウ 人文主義者エラスムス (Erasmus, D.) は、『幼児教育論』(1529)において子供の個人差を重視し、体罰に代わる遊びなど、子供の興味と能力に適合した方法を推奨した。

エ 福沢諭吉は、元田永孚が主張する儒教主義的徳育に対して『時事新報』や『徳育如何』(1882)においてその時代錯誤性を批判した。

問 4 次の文は、「教育基本法」(平成18年法律第120号)の条文である。文中の ～ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第2条 教育は、その目的を実現するため、 を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、 と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、 に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

	①	②	③	④
ア	公共の精神	豊かな情操	自律の精神	学問の自由
イ	公共の精神	自律の精神	学問の自由	豊かな情操
ウ	学問の自由	公共の精神	豊かな情操	自律の精神
エ	学問の自由	豊かな情操	自律の精神	公共の精神

問 5 「学校教育法」(昭和 22 年法律第 26 号)第 11 条では、児童・生徒・学生の懲戒について「校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない」と規定している。この条文に基づいて、通常、体罰と判断されると考えられる行為の組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 児童が教員の指導に反抗して教員の足を蹴ったため、児童の背後に回り、体をきつく押さえる。
- ② 授業態度について指導したが、反抗的な言動をした複数の生徒らの頬を平手打ちする。
- ③ 生徒指導に応じず、下校しようとしている生徒の腕を引いたところ、生徒が腕を振り払ったため、当該生徒の頭を平手で叩(たた)く。
- ④ 全校集会中に、大声を出して集会を妨げる行為があった生徒を冷静にさせ、別の場所で指導するため、別の場所に移るよう指導したが、なおも大声を出し続けて抵抗したため、生徒の腕を手で引っ張って移動させる。

- ア ①と②
イ ②と③
ウ ①と④
エ ②と④

問 6 次の各文は、教育公務員の研修に関する説明である。「教育公務員特例法」(昭和 24 年法律第 1 号)の条文の内容に照らして誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 教育公務員には、研修を受ける機会が与えられなければならない。
- イ 公立の小学校等の教諭等の任命権者は、当該教諭等(臨時的に任用された者その他の政令で定める者を除く。)に対して、その採用の日から一年間の教諭の職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を実施しなければならない。
- ウ 教員は、授業に支障のない限り、任命権者の承認を受けて、勤務場所を離れて研修を行うことができる。
- エ 児童、生徒又は幼児に対する指導が不適切であると認定した教諭等に対する指導改善研修の期間は、一年を超えてはならない。ただし、特に必要があると認めるときは、任命権者は、指導改善研修を開始した日から引き続き二年を超えない範囲内で、これを延長することができる。

問 7 「いじめ防止対策推進法」(平成 25 年法律第 71 号)の条文として正誤の組合せの正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① いじめの防止等のための対策は、いじめが全ての児童等に関する問題であることに鑑み、児童等が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わずいじめが行われなくなるようにすることを旨として行われなければならない。
- ② 児童等は、いじめを行ってはならない。
- ③ 保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、その保護する児童等がいじめを行うことのないよう、当該児童等に対し、規範意識を養うための指導その他の必要な指導を行うよう努めるものとする。
- ④ 国及び地方公共団体は、当該学校におけるいじめを早期に発見するため、当該学校に在籍する児童等に対する定期的な調査その他の必要な措置を講ずるものとする。

	①	②	③	④
ア	○	○	○	×
イ	×	○	×	○
ウ	○	×	○	×
エ	×	○	○	○

問 8 次の文は「小学校学習指導要領」(平成 29 年文部科学省告示第 63 号)の「第 1 章 総則 第 1 小学校教育の基本と教育課程の役割」の一部である。文中の ～ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

各学校においては、児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと(以下「 」という。)に努めるものとする。

	①	②	③
ア	教科等横断的	把握	カリキュラム・マネジメント
イ	系統的	把握	アクティブ・ラーニング
ウ	教科等横断的	評価	カリキュラム・マネジメント
エ	系統的	評価	アクティブ・ラーニング

問 9 次の文章は「小学校学習指導要領」(平成 29 年文部科学省告示第 63 号)の「第 1 章 総則 第 3 教育課程の実施と学習評価」の一部である。文章中の ① ~ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

学習評価の実施に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の ① や成果を評価し、 ② や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。
- (2) 創意工夫の中で学習評価の ③ や信頼性が高められるよう、組織的かつ計画的な取組を推進するとともに、学年や学校段階を越えて児童の学習の成果が円滑に接続されるように工夫すること。

	①	②	③
ア	到達度	学習態度	正確性
イ	到達度	指導の改善	正確性
ウ	過程	学習態度	妥当性
エ	過程	指導の改善	妥当性

問10 次の文章は「小学校学習指導要領」(平成29年文部科学省告示第63号)の「第5章 総合的な学習の時間 第1 目標」である。文章中の ① ~ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

探究的な見方・考え方を働かせ、 ① ・総合的な学習を行うことを通して、よりよく ② を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、 ② の解決に必要な知識及び技能を身に付け、 ② に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で ② を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・ ③ に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

	①	②	③
ア	横断的	課題	協働的
イ	合科的	問題	協働的
ウ	横断的	問題	対話的
エ	合科的	課題	対話的

問11 次の各文は、道徳教育に関する説明である。「小学校学習指導要領」(平成29年文部科学省告示第63号)の内容に照らして正しいものを、次のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 道徳教育は道徳教育推進教師を中心に、学級担任が行う。
- イ 道徳科は、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たす。
- ウ 児童の発達の段階や特性等を考慮し、道徳性を養うことの意義については教師が主体となって指導する。
- エ 児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握するため、数値などによる評価を継続的に行う。

問12 次の文章は、「小学校学習指導要領」(平成29年文部科学省告示第63号)の「第6章 特別活動 第1 目標」である。文章中の ① ~ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な ① に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な ① の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、 ② の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的、実践的な ① を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び ② をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、 ③ を図ろうとする態度を養う。

	①	②	③
ア	体験活動	人間関係	自己実現
イ	集団活動	学級組織	自己決定
ウ	体験活動	学級組織	自己決定
エ	集団活動	人間関係	自己実現

問13 次の文章は、「特別支援教育の推進について」(平成19年4月1日付け19文科初第125号文部科学省初等中等教育局長通知)の一部を抜粋したものである。文章中の ① ~ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒の ① や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の ② を把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものである。

また、特別支援教育は、これまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、知的な遅れのない ③ も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものである。

	①	②	③
ア	自立	教育的ニーズ	発達障害
イ	成長発達	障害の状態	自閉症
ウ	自立	障害の状態	自閉症
エ	成長発達	教育的ニーズ	発達障害

問14 『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編』(平成29年7月)に示された不登校児童への配慮事項を踏まえて誤っているものを、次のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 不登校は、取り巻く環境によっては、どの児童にも起こり得ることとして捉える必要がある。

イ 不登校とは、多様な要因・背景により、結果として不登校状態になっているということであり、その行為は「問題行動」と判断して対応する必要がある。

ウ 不登校児童については、個々の状況に応じた必要な支援を行うことが必要であり、登校という結果のみを目標にするのではなく、児童や保護者の意思を十分に尊重しつつ、児童が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。

エ 不登校児童の状況によっては休養が必要な場合があることも留意しつつ、学校以外の多様な適切な学習活動の重要性も踏まえ、個々の状況に応じた学習活動等が行われるよう支援することが必要である。

問15 動機づけに関する説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 外発的な動機づけには特に報酬や罰を必要としない。
- イ デシ (Deci, E.L.)によれば、内発的動機づけを高めるには自己決定感が重要である。
- ウ 内発的に動機づけられた行動に報酬を与えると、動機がさらに高まることをアンダーマイニング現象と呼ぶ。
- エ 内発的動機を高めるには、締め切りや行動の監視などを強めることが効果的である。

問16 記憶に関する説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 短期記憶に一度記憶されたものは、次の日にすべて思い出すことができる。
- イ 短期記憶の容量は発達につれて変化せず、ほぼ一定である。
- ウ 記憶を効率よく行うためには、記憶対象をまとまり(チャンク)として記憶するという方法がある。
- エ 意味記憶は、それを覚えた時間や場所などに依存するような個人的な経験の記憶である。

問17 ピアジェ (Piaget, J.)の子供の認知発達理論に関する説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 感覚運動期には、言語などの表象を使った思考の発達が顕著である。
- イ 前操作期には、「元の状態に戻すと同じになる」といった可逆性の考えが可能になり、保存概念獲得の一因となる。
- ウ 具体的操作期になると脱中心化が進み、三つ山課題などに正答できるようになる。
- エ 具体的操作期になると、仮説演繹的思考が可能になる。

問18 カウンセリングに関する説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア ロジャーズ(Rogers, C.R.)によれば、カウンセリングに当たっては、客観的に事実を聞き出し、指導することが大切なので、共感的に理解することは控えるようにする。

イ ロジャーズ(Rogers, C.R.)によれば、カウンセラーは自分の考えや思いの方向に話の内容を誘導するようにする。

ウ 児童期の子供に対して、開発的カウンセリングは行わない方がよい。

エ エリス(Ellis, A.)の論理療法の考え方によれば、体験した出来事をどう受けとめるか(ビリーフ)がその後の感情や行動に影響する。

問19 『小学校プログラミング教育の手引(第三版)』(令和2年2月文部科学省)では、小学校におけるプログラミング教育のねらいが示されている。その内容として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、といったことを論理的に考えていく「プログラミング的思考」を育むこと。

イ プログラムの働きやよさ、情報社会がコンピュータ等の情報技術によって支えられていることなどに気付くことができるようにするとともに、コンピュータ等を上手に活用して身近な問題を解決したり、よりよい社会を築いたりしようとする態度を育むこと。

ウ プログラミングに取り組むことを通じて、児童がおのずとプログラミング言語を覚えたり、プログラミングの技能を習得したりするといったこと自体をねらいとすること。

エ 各教科等の内容を指導する中でプログラミング教育を実施する場合には、各教科等での学びをより確実なものとするに繋がること。

問20 次の文は、「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について」(平成31年3月29日付け30文科初第1845号文部科学省初等中等教育局長通知)の一部である。文中の ① ~ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

各教科等の目標及び内容を「知識及び技能」, 「思考力, 判断力, 表現力等」, 「学びに向かう力, 人間性等」の ① の三つの柱で再整理した新学習指導要領の下での ② を推進する観点から, ③ の観点についても, これらの ① に関わる「知識・技能」, 「思考・判断・表現」, 「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理して示し, ④ において, これに基づく適切な観点を設定することとしたこと。

	①	②	③	④
ア	資質・能力	指導と評価の一体化	観点別学習状況の評価	設置者
イ	資質・能力	観点別学習状況の評価	指導と評価の一体化	授業者
ウ	学力観	観点別学習状況の評価	資質・能力	本属長
エ	学力観	指導と評価の一体化	資質・能力	任命権者